

# 「防災塾・だるま」2018年12月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

■日時：2018年12月21日 14:00~15:30

司会：高松 清美

■場所：神奈川大学 24号館310室

■出席者：高松、中島、森下、田中(喜)、片山、田中(晃)、佐藤(忠)、玉井、山田(富)、稲垣、増田(佳)  
田中(栄)中村(誠)、鷲山、土橋、釜石、河津 計17名(敬称略)

- 配布資料：1. 特別企画「神奈川県総合防災センター見学会」  
2. 意見交換テーマ「女性の視点から考える避難所運営」  
3. 12月「毎月の情報」

<チラシ関係> ①「第163回談義の会」チラシ

②「防災めぐり」抜粋5点、貴方の意見比率(大井町まちづくりの会)

\*お願い=大学24号館310室使用時は静粛に(廊下での発声音・携帯電話、机・椅子移動時)

【Ⅰ意見交換：今月のテーマ】「女性の視点から考える避難所運営」・・・高松、土橋、田中(喜)、河津

<発言から抜粋>

増田(佳)、山田(富)、稲垣、佐藤、田中(晃)、釜石

- ・配布資料に「過去の災害において女性の犠牲者の方が多い」と記述あるが、被害者の誤りではないか?
- ・被災地へ行った時、避難所でレイプ事件があったとか何回か聞いている
- ・新聞等でも女性に対する配慮の視点について報道されている。支援物資でも男女別に分ける物を一緒に届けたり、配布の際も男女の物を並べて配布したりとか、女性視点からすると配慮が不十分
- ・拠点避難所運営委員会の自治会委員は10人(女性1~2人)だが、男性も女性目線というのは理解しているし、状況によって配慮はできる
- ・防災は男性がするものという意識があるのか、拠点運営委員会に参加する女性は少ない
- ・炊き出しは女性がやるものと決めるのではなく、皆で協力してやるようにする必要がある。東日本の被災地で夜トイレに行った時、真っ暗で恐怖を感じ、それから3人で行く方が安全と言っている
- ・自治会防災隊役員46人中女性は12~3人いるが、まだ如何に救うかの議論の段階。女性に対する配慮、目線に対する「チェックポイント」を作りたい。女性のイメージというのが分からない
- ・拠点に関しては、便利・快適にすると避難者が何でもやってもらえる意識になる。困った経験が必要
- ・拠点訓練の際トイレの組み立てだけやるのではなく、設置場所を決めるところまでやる必要がある
- ・「ハマッコトイレ」は5個が1列になっていて、男女別にするとか障がい者用とか分けることが困難
- ・ネット時代の今、若い人は情報を自分で得ようとする。避難所ではこうなっているという話をする必要があり、年配者と若い人を繋ぐ人が必要。コミュニケーションを取ることが必要で、話の出た「チェックポイント」をネットに載せたら若い人も見るのではないか
- ・私の地域防災拠点では、運営委員会は立ち上げまでですが、立上後の運営は来た人がやることにしている。炊き出しは来た人に作り方を教える。拠点へは行かなくて済む備えをするよう、広報している
- ・地元自治会員には1週間の食料は準備するよう言っている。地元の市は自宅避難をした場合、自宅避難届をすれば、食料も情報も拠点で得られる
- ・首都直下地震を想定すれば、100人の被災者に10人のボランティアが来てくれるかどうかという状態ではないか?首都圏は東日本とか熊本のように、ボランティアが大勢来てくれるということはないのではないか

【Ⅱ運営関係】

1. 会員、会計関係・・・中島

- ・会員：移動なし、会員数(11/30現在)：正会員=133名(内学生会員=5名)、賛助会員=0名
- ・30年度年会費未納者は22名、納付推進につき会員に協力を依頼。年度末までに年会費未納付の場合、規約により退会扱いとなることをメールで連絡する

2. HP・情報提供など・・・中島、増田(佳)

①HPの更新(11/23~12/18)

- ・11月だるま役員会議事録
- ・10月だるま定例会議事録
- ・第161回談義の会レポート
- ・養成講座講義録：1限目~6限目
- ・神奈川県建築士会：DIG体験ワークショップ活動報告
- ・第160回談義の会：講演資料(講師:江上健氏)
- ・養成講座6限目の講演資料(講師:稲垣博正氏)

②情報：それぞれの情報は各HP参照。1月は各地で出初式が開催。情報提供にご協力ください!

3. 平成31年カレンダー(1,000部印刷+追加印刷200部)・・・田中(喜)

- ・だるまPR用に積極的に活用を!

4. 運営：定例会・談義の会・・・中島、田中（喜）、片山

- ①12月担当：高松・田中(喜)・増田・山田(美)、意見交換テーマ：女性の視点から考える避難所運営  
第162回談義の会 話題：「防災の課題と対策を考える 意見交換会」  
講師：釜石 徹氏（災害対策研究会 主任研究員）
- ②1月担当：山田（美）、田中（栄） 意見交換テーマ：「どうしたら防災に関心を持ってもらえるか」  
第163回談義の会 話題：「北海道胆振東部地震を体験して」 講師：相原延光氏
- ③2月・3月の講師  
第164回談義の会 講師：藤岡浩之氏（KK ハレックス社長）  
第165回談義の会 神奈川県くらし安全防災局に講演を依頼（会場：関内ホール予定）

5. 2019年度だるま総会の準備・・・中島

- ・1月役員会で検討開始

【Ⅲ主催・共催事業など】

- 1. 第13回実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座・・・片山  
・受講者は37名だったが、グループワークを4回行った。大学から講師料は今月振込予定
- 2. J-DAGの普及・・・片山  
・座間市消防本部で11月28日実施（実施状況は1月座間市HPに掲載予定）。栄区で11/11・12/12と2回実施したが、12月12日は横浜市危機管理室の花塚氏、栄区・磯子区から各2名の危機管理担当者が参加。今後、磯子区での開催も期待
- 3. 3BWG活動・・・片山、山田（富）  
・「防災めぐり-子供V」は早川・増田さんにチェック依頼中。「防災めぐり-大人V」は横浜市荒井危機管理監を訪問の際、管理監に紹介している  
・大井町防災まちづくりの会で「防災めぐり」から5問を抜粋して、参加者に「YES・NO」の回答をシールで貼ってもらったところ、チラシ（配布チラシ②参照）のような結果となった
- 4. 特別企画「荒井危機管理監講演会（11/27）」・・・中島  
・講演「災害多発の日本列島」のレポートをまとめ、HPへ掲載の予定
- 5. 特別企画「県総合防災センター（厚木市）見学会」（配布資料①参照）：1/10（木）・・・中島  
・詳細は、参加者へ早川さんから連絡

【Ⅳ協力・参加・情報・その他】

- 1. 後期連続講演会「原発ゼロと日本の歩むべき道」（12/8）・・・中島  
・小泉純一郎氏が、総理時代に聞かされた原発に関する話は真実ではなかった。後半は総理時代の裏話
- 2. 「1・17神戸慰霊祭」への参加企画・・・高松  
・現在参加予定4名：荏本、高松、田中(喜)、早川  
・現在企画案を検討中で、近々にメール案内予定（根尾谷断層または野島断層の見学など）

【Ⅳ 今後の予定】

- 1. 平成31年1月例会 1月25日(金) 会場：24号館 310号室 月担当：山田(美)、田中(栄)
  - ・3BWGプロジェクト 14:00-15:00 担当：片山
  - ・定例会 15:30-17:30 担当：月担当
  - ・第163回談義の会 18:00-19:30 担当：月担当  
話題：「北海道胆振東部地震を体験して」 講師：相原延光氏（147）
  - ・役員会 1月 8日（火） 10-12時30分（総会準備検討の為延長） 851C
  - ・資料準備（当日） 1月25日（金） 13-14時 851C
- 2. 平成31年2月例会 2月22日(金) 会場：24号館 310号室 月担当：中島、紅林
  - ・3BWGプロジェクト 14:00-15:00 担当：片山
  - ・定例会 15:30-17:30 担当：月担当
  - ・第164回談義の会 18:00-19:30 担当：月担当  
話題：「豪雨による災害に向けた行政サイドの対策」  
講師：藤岡 浩之氏（KKハレックス 代表取締役社長）
  - ・役員会 2月 5日（火） 10-12時30分（総会準備検討の為延長） 851C
  - ・資料準備（当日） 2月22日（金） 13-14時 851C

主な協力者 会計：早川 HP：佐藤・中島 チラシ・記録・情報担当：田中(喜)・紅林  
佐藤・中村(誠)・中島・増田 3BWG：片山 実践講座：片山

（記録：中村 誠）

以上